

裏面白紙

宗

二十九年十月一日

第三課

第四課

記入済

官報報告

立案

大正二年十月一日

決裁

大正二年十月一日

宗秩寮總裁

(捺)

宗秩寮主事

(捺)

(捺)

大臣

次官

陸軍大將子爵大島久直特旨叙位ノ件

回覽
二年十月十一日

九月五日

大正二年九月十日
臺帳記十月十日官報發管濟

宮内省

(二六)

49



陸軍大將子爵大島久直特旨

叙位ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正二年九月三十日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

内

閣

大正二年九月二十日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官長

陸軍大將正三位勲一等功二級子爵大島久直、旧秋田藩士ニシテ江戸及京都ニ在勤シ明治元年奥羽賊徒征討ノ際藩主ニ後ヒ庄内口ノ賊徒ト戦ヒ屢苦戦ヲ行ヒ以テ會津藩城ニ至ル迄能ク仙臺庄内右藩ノ級軍ヲ北方ニ牽制シ皇軍ノ奏功ニ貢獻スル所少カラス維新後第三番大隊小隊司令試補ニ出身シ陸軍創設ノ際ニ於テ

内閣

精勵國軍ノ基礎ヲ造リ爾來在職四十餘年殊ニ西南日清日露各戰役ニ從フニ用兵毎ニ機宜ニ適シ就中日露戰役ニ於テハ第九師團長トシテ旅順攻圍軍ヲ奉天會戰ニ偉功ヲ奏シ戰後近衛師團長教育總監軍事參議官ノ要職ニ在リ其間各兵種操典改正ノ事業ヲ完滿シ且屢々特命檢閲使トナリテ親シク軍隊ヲ監査督勵シ以テ國軍ノ發達ヲ促進セシメタル等成績實ニ顯著ナル者ニ候處今般後備被仰付候ニ付此際特ニ前功ヲ録セラシ位一級ヲ進メ從二位ニ叙セラルヘキ旨上奏相成可然也

裏面白紙

陸軍大將正三位勳一等功二級子爵大島久直

特旨ヲ以テ位一級被進

正三位勳一等功二級子爵大島久直



叙從二位

内閣

位七〇九ノ三

大島大將特旨叙位、件照會

大正二年九月十九日

陸軍次官本郷房太郎

内閣書記官長山之内一次殿

陸軍大將正三位勲一等功二級子爵大島久直

右、明治三年陸軍出身以來、在職實三十四年、毎
ニ樞要ノ職ニ在リシノミナラス、特ニ久シク近衛師團長
ノ職ヲ奉シ、其功績偉大ナル者ニ有之候處、本月
五日、年齡滿限ヲ以テ、後備被仰付候ニ就テ、特別



53

本件
印
コ
シ
テ
存
ネ

九三

大島大將特旨叙位、件照會

正二年九月十九日

陸軍次官本郷房太郎

書記官長山之内一次殿



陸軍大將正三位勳一等功級子爵大島久直

三年陸軍出身以來在職實二十四年每

職ニ在リシノミナラス特ニ久シク近衛師團長

本シ其功績偉大ナル者ニ有之候處本月

満限ヲ以テ後備被 仰付候ニ就テハ特別

53

本件ハ本人カ明治維新以來、
功績ニ對シ奏請相成ル儀
ニシテ今後新ナル功績ヲキテ
重ネテ叙位奏請セサル筈ナリ

ヲ以テ位一級ヲ進ノ從二位ニ敍セラレ候様御取計
被成下度別紙履歷書及功績書ヲ添へ此段申
進候也

追テ大島大將ハ本月二十九日迄在職セハ敍位進階
内則第ニ條ノ進階年數ニ達シ從二位ニ敍セラル
ヘキ資格ノ生スル者ニ有之候ノミナラス先年小川
大將豫備被仰付候節モ特旨ヲ以テ從二位ニ進
ノラレタル前例モ有之候ニ付特別ノ御詮議相
成度候

功績書

陸軍大將正三位勲一等功二級子爵大島久直

右ハ維新前秋田藩士ニシテ江戸及京都ニ在勤シ明治元年奥羽賊徒征討ノ際ハ藩主ニ從ヒ庄内口ノ賊徒ト戦フコト數回屢々苦戦ヲ行ヒ以テ會津落城ニ至ル迄能ク仙臺庄内各藩ノ強大ナル叛軍ヲ北方ニ牽制シ白王軍ノ奏功ニ貢獻スル所少カラス維新後第三番大隊小隊司令試補トシテ出身シ我陸軍創設ノ際ニ於テ精勵軍隊ノ訓練ニ任シ以テ國軍ノ基礎ヲ造リ爾來在職實ニ四十餘年毎ニ樞要ノ職ヲ奉シ銳意軍制ノ改良教育ノ進歩ヲ圖リ陸軍ノ聲價ヲシテ今日ノ如キニ至ラシメタルハ其ノ拮据盡瘁與ツテ大ニカアル所トス殊ニ明治十年同二十七八年及同三十七八年ノ各戰役ニ從軍シ用兵

毎ニ機宜ニ適シ戰功顯著ナルノミナラス就中最近戰役ニ於テハ第九師團長トシテ旅順攻圍軍ニ參加シ難戰苦闘數閱月終ニ東北面ノ敵ヲ突破シテ陷落ノ動機ヲ與ヘ次テ奉天附近ノ會戰ニ於テハ遠ク奉天西北方ニ迂回シテ敵ノ退路ニ肉迫シ曠古ノ大捷ヲ奏スルニ至ラシメタリ戰後近衛師團長ノ要職ニ在ルコト數年後テ教育總監ニ任セラレ、ヤ各兵種操典改正ノ事業ヲ完成シ以テ戰後ニ於ケル國軍練成ノ基礎ヲ確立シ且ツ三度特命檢閲使トナリ親シク軍隊ヲ監査督勵シ益々國軍ノ發達ヲ促進セシメタル等我陸軍ニ貢獻シタル効績實ニ偉大ナリトス

履歷書

陸軍大將正三位勲一等功二級子爵大島久直

嘉永元年九月五日生

文久三年三月廿六日 元服、秋田藩ニ仕テ

元治元年秋ヨリ慶應二年秋迄江戸及京都ニ在勤ス

明治元年春夏ノ交奥羽賊徒征討軍ニ属シ屢々庄内口ニ戦フ

明治三年四月三日 第三番大隊小隊司令試補

同 四年五月二十五日 陸軍中尉、歩兵第二聯隊第一大隊八番小隊長

同 年十月二十二日 陸軍大尉、一番大隊副官

同 六年十二月七日 第七大隊長、勤務

同 七年三月八日 叙正七位

同 年十月二十八日 陸軍少佐、歩兵第三聯隊第二大隊長

明治八年二月二十四日 叙従六位

同 年十月廿四日 東京鎮臺幕僚參謀

同 九年十月十六日 東京鎮臺幕僚參謀副長

同 十年三月九日 歩兵第一聯隊第一大隊長

同 年三月十日 東京出發西南役ニ従軍

同 十三年六月十二日 總務局次長心得

同 十四年二月十六日 歩兵中佐

同 年二月十九日 總務局次長

同 年三月二十五日 叙正六位

同 十五年十月四日 東京衛戍司令官

同 十六年六月廿九日 歩兵第十一聯隊長

同 二十年四月廿七日 歩兵大佐

同 二十三年三月十一日 近衛歩兵第三聯隊長

大正二年四月十五日
同 年 九 月 五 日
第 三 特 命 檢 閱 使
後 備

陸 軍

裏 面 白 紙